「化学物質過敏症」をご存じですか？

「化学物質過敏症」は、ごく少量の物質に対して過敏に反応し、頭痛、感覚異常、呼吸困難、倦怠感、疲労感などの多彩な症状を呈する疾患です。

依然、未解明の部分が多い疾患ですが、柔軟剤や合成洗剤の香料により症状が誘発される方が増えています。

【原因物質】

- 家の中→柔軟剤、香水、タバコ、洗剤、漂白剤、芳香剤、食品、食品添加物、残留農薬、カビ、ダニ、ちり、防虫剤、建材、接着剤、ホルマリン、塗料、オゾン
- 家の外→ディーゼル粉塵、排気ガス、大気汚染物質、農薬、殺虫剤、除草剤、シロアリ駆除剤、花粉、動物の毛、オゾン

【症状を訴える方の声】

- 「香害」について多くの人に知ってほしい。
- 学校の給食着に、各家庭で使われている人工香料の香りが付着しており、鼻の粘膜が痛くなった。
- 友人の車の芳香剤の臭いがきつくて、気分が悪くなった。
- 芳香剤や香水を使用した人と同席すると、目がチカチカする。
- スギ花粉は季節が限定されているが、化学物質は毎日曝露してつらい。

化学物質過敏症の方への配慮をお願いします

化学物質過敏症の症状は、有害因子あるいは誘発する可能性のある有害因子に近づくことで誘発されるため、患者が安心して生活するためには、周囲の方々だけでなく、社会全体の協力が欠かせません。

化学物質過敏症への理解を深め、誰もが安心して暮らせる社会の構築に御協力をお願いします。

【宮城県ホームページ】
化学物質過敏症について

宮城県

令和2年12月作成
宮城県保健福祉部疾病・感染症対策室